

第38回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成27年5月11日（月） 10:00-11:40

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官、内丸宇宙戦略室参事官、森宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) JAXAの新組織体制等について

JAXAの新組織体制等について、資料1及び参考資料4、参考資料5に基づいてJAXA・奥村理事長から報告を行った。主な意見は以下の通り。

- ・ 宇宙利用と産業化の推進のため、JAXA 研究開発部門が先導し、他分野の優れた要素技術を宇宙分野に取り込む。その際、宇宙政策委員会の審議も踏まえ、日本の強みを伸ばすような分野に注力すべき。
- ・ 産業化に当たっては、中長期の成果と同時に短期的成果も重要。産業界と意見交換を行い、具体的な検討を進めることが必要。
- ・ 宇宙科学・探査分野のプログラム化に当たっては、宇宙科学研究所と宇宙探査イノベーションハブがバラバラに検討するのではなく、一貫性を持った検討体制とすべき。

(2) 宇宙政策委員会 JAXA 分科会の設置について

宇宙政策委員会・JAXA 分科会の設置の報告及び運営要領の改訂について、資料2「宇宙政策委員会の検討体制について」及び資料3「宇宙政策委員会の運営について（案）」に基づいて事務局から説明があり、これについて審議を行った。資料3については、委員会として了承された。

(3) 各部会等の検討状況の報告

宇宙安全保障部会の審議状況について、資料4に基づいて中須賀部会長から報告を行った。宇宙民生利用部会の審議状況について、資料5に基づいて中須賀部会長から報告を行った。宇宙産業・科学技術基盤部会の審議状況について、資料6に基づいて山川部会長から報告を行った。宇宙科学・探査小委員会の審議状況について、資料7に基づいて松井座長から報告を行った。宇宙法制小委員会の審議状況について、資料8及び資料9に基づいて青木座長代理から報告を行った。また、最近の日米宇宙協力の動向について、参考資料6、参考資料7、参考資料8、参考資料9に基づいて外務省から報告を行った。主な意見は以下の通り。

<宇宙民生利用部会>

- ・ 宇宙利用の拡大のために、民間の新規参入者が出てくることが重要。宇宙政策委員会以外の有識者や組織との連携を進めることが必要。

<宇宙科学・探査小委員会>

- ・ 宇宙基本計画の工程表の記載通りにプロジェクトに着手できるよう、JAXA において必要なプロセスを加速していくことが必要。

<宇宙法制小委員会>

- ・ 宇宙活動法の検討に当たっては、海外衛星の打上げサービス受注、民間事業者による宇宙活動の支援の観点に加え、政府衛星の打上げに影響が出ないようにとの視点も必要。

(4) 工程表改訂に向けた中間取りまとめの方向性について

工程表改訂に向けた中間取りまとめの方向性について、中須賀委員から資料10「工程表改訂に向けた中間とりまとめの構成（案）」に基づいて説明があり、これについて審議を行った。資料10については、委員会として了承された。主な意見は以下の通り。

- ・ 宇宙利用の拡大に向け、防災やITなどの関連分野に対して、宇宙から積極的に提案を行っていくべき。

以上